

平成 30 年度 第2回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会

議 事 録

日時：平成 30 年 12 月 27 日（木）

14：45～15：45

場所：飛島村役場 2 階 第 3 会議室

1. 開 会

○司会

ただいまから、平成 30 年度第 2 回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせていただきます。

本日の会長の村長が所要により欠席。

○副村長挨拶)

【開会挨拶】

こんにちは。年末の忙しい中、出席いただきありがとうございます。

先ほど事務局からの紹介がありました通り、村長が急用で欠席していますので、私より開会挨拶をさせていただきます。

本日の会議は、議事次第の通り、利用実績、オーバーホールなどの報告と、議事として、自己評価と、1 日無料運行について協議させていただきます。

皆様の専門性のご経験に基づく、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

○事務局

資料確認

当協議会は、協議会会議運営規定に基づき会議録を開示させていただきます。

また、定数の過半数を超える委員の出席を頂いていますので、協議会設置要綱に定める会議としての成立要件を満たしております。

○座長（伊豆原教授）

こんにちは。

飛島村の蟹江線は、利用が増えています。うれしい話です。これまで議論いただき、利便性を高めてきました。ダイヤの変更や増便などの対応の結果です。これだけ増えているなかで、後で議論しますが、今後の改善点を早めに検討していく。皆さんからのお知恵をいただき、公共交通をよいものにしてくよう、お願いを申し上げたい。

それでは、議事に入りますが、初めに議事録署名人を選任させていただきます。議事録署名人については、偕行会の澤田様、三重交通桑名営業所の小黒委員を選任させていただきます。

本日は、報告事項が 4 件、議案が 2 件です。限られた時間ですが、積極的にご意見を願いたい。

2. 報告事項

(1) 飛島公共交通バス利用実績について(資料1)

○事務局

資料説明

○座長(伊豆原教授)

何かご質問、ご意見等ありますか。

○杉本委員(中部運輸局愛知運輸支局)

利用実績について、名港線について少し落ちている。蟹江線は伸びている。名港線は、27年度までは増加し、少し落ち込みがあるが、分析はどうか。

一方の蟹江線の1便当たり、時間当たりの動向はどうか。朝と昼間体の状況をみて、どんなところをテコ入れするか。停留所の状況もわかれば教えてほしい。情報の共有をしていきたい。

○事務局

ご質問について、詳細の分析はしていない。

名港線は、1日当たりにすると数人の減少なので、ほぼ横ばいと認識。従業員の利用として理解している。蟹江線の状況は手元にはないが、朝夕の利用が多い。蟹江線、名港線ともに朝の対応について課題があると認識している。

○座長(伊豆原教授)

今日でなくてもよいので、詳細の分析を今後共有していく必要があるだろう。蟹江線の港に行く利用が増えているというのはいないか。

○事務局

朝の直行便は、多くの利用がされていると認識している。臨海部に直接行く人が増えたかもしれない。

○安田委員代理(名古屋市)

海南病院通院支援タクシーは増便したと思う。PRしたので、利用が増えていた。今年は減少。特定の利用者の変動で、減少になっているかと思うが、来年度以降も新たな利用につながるよう、PR、改善策を考えていただければと思う。

○座長(伊豆原教授)

アドバイスを頂戴しました。

○事務局

ご指摘の通りです。

○座長(伊豆原教授)

海南病院通院支援タクシーは、相乗率1.2人という数字もある。

他に意見ありますか。特にご意見がありませんので、利用実績について確認したこととします。

（２）オーバーホール計画について（資料２）

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

オーバーホールし利用できる年数を伸ばす計画について説明がありました。意見等ありますか。
ご質問がないようですので、車両のオーバーホールを進めていただくことをお願いしたいと思います。

（３）名港線・蟹江線増便対応の検討について（資料３）

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

名港線蟹江線の増便について検討を始めた。2020 年に増便する。これについてご意見ありますか。

○小林委員代理（名古屋港管理組合）

臨海部企業から、名港線では7時頃の利用が多い。朝、遅い時間の増便ができないかとの要望を聞いている。対応できないか。

○事務局

ニーズは承知している。対応できるかどうか検討を進めている。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

2 台の増車に関する補助金の活用について、事業者が所有する場合の減価償却費に対する補助と、自治体が所有の公有民営の補助のスタイルがある。この補助対象の違いによる事務手続きは異なるため、事前に愛知運輸支局の補助担当者と調整をお願いしたい。

○座長（伊豆原教授）

補助手続きについてはよろしくお願いします。

来年度、1 年かけて、検討・調整を進めます。

運転手の確保ができない問題もあるので、車を増やしても運転手がいないとできないので、交通事業者との調整もお願いしたい。

他に意見がなければ、検討を引き続き進めて下さい。よろしくお願い致します。

（４）飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会設置要綱の一部改正について（資料４）

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

改正事項とは異なりますが、書面決議を実施するケースが場合によっては発生するのではないかと。書面決議についても要綱に明記してよいのではないかと。今後でかまわないので検討いただければと思う。

○座長（伊豆原教授）

書面決議について検討ください。

書面決議が必要なのは、軽微な変更などは会議開催をまたず、事後承認で運用するというところで、その事務手続き事項も考慮していただけたらどうか。

指摘の点についてご了解いただき、変更に関する文面は事務局に一任いただくということで、進めたい。

よろしくお願い致します。

3. 議 事

●議案第1号 平成30年度 自己評価について （1-1・・・中部様式）（1-2・・・愛知県様式）

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。中部様式と愛知県様式のものがある。

飛島村は、幹線系統の補助金対応がある。県から指摘ありますか。

○神谷委員代理（愛知県）

代理で出席した。

県で幹線系統については、様式を用いて国に提出します。

幹線系統の県の様式については、近隣市町とのコミュニケーションをとっていただくことを目的に整理していただいている。名港線、蟹江線ともに、名古屋市など近隣とのコミュニケーションをとっていただいていると思う。

来年1月10日のバス対策協議会で審議し、国に提出する。

○座長（伊豆原教授）

県の報告と合わせて、ご質問等ありますか。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

中部様式については、中部運輸局独自の評価です。以前フィーダー系統を活用されて、廃止後も、引き続き評価いただきありがとうございます。

様式は、フィーダーだけでなく、網形成計画に定められている内容を評価いただくようお願いしています。4頁の事業について、計画で位置づけている事業の内、今年度特に行われている事業をわかるようにしてもらえるとよいと思う。

文字のフォントについて、住民の皆さんにも理解いただくようにしているので、7頁などフォン

トを大きくしてもらってはどうか。細かな指摘ですが配慮いただけると良いと思う。

○座長（伊豆原教授）

資料の４頁は、今年度特に行った事業を具体的にわかるように示すようにしましょう。
フォントの大きさはわかりやすくということで、考慮ください。

○事務局

わかりました。

○安田委員代理（名古屋市）

利用促進策について、増車、ダイヤ改正が行われるときは、予算を確保して利用促進策を対応されると思う。

蟹江線は、良い方向に動いており、正のスパイラルになって、さらに便利になる、そして利用が増えていくことで便利にするという、より使っていただけるような PR の検討を進めていただいたら良いと思う。

○座長（伊豆原教授）

良い指摘をいただきました。

私からも発言させていただく。網形成計画の最終年度が来年だと思う。計画の改定に向けて整理を進める時期になってきたと思う。計画のチェックについてどう考えていくか、今年度最後の会議があれば、計画のチェックの考え方について議論したらどうかと思う。

蟹江線の増便など、改定する計画にどう整理すべきかを議論したらと思う。

幹線系統の評価は、県を通じて報告し、第三者評価委員会で評価されることになる。その結果も報告いただきたい。

議案第１号の自己評価については、細かな修正をすることで、その修正内容は事務局、会長、座長に一任いただくとして、承認いただいてよろしいか。

ありがとうございました。特に異議がないようなので承認いただいたとします。

●議案第２号 飛島公共交通バス（蟹江線）の１日無料運行について

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。蟹江線の１日無料運行についてご意見ありますか。

○杉本委員（中部運輸局愛知運輸支局）

３月２４日終日の運賃収入が０円になる。この点は、届出した協議運賃と異なることになる。臨時便の運行もあるので、愛知運輸支局への届出対応をお願いします。

○事務局

対応します。

○多田委員（名古屋タクシー協会）

参考としてお聞きしたい。

利用した利用者数のカウントはどのように整理するのか。補助金との関係について確認したい。

○事務局

利用者のカウントはします。幹線系統の補助金対応については、県と扱いについて相談し対応します。

○座長（伊豆原教授）

イベント運行の数字の扱いは県と調整ください。利用実績は確認することに意味があるので、整理してください。

他に意見ありますか。無いようです。

委員に皆様には、こんなイベントがあるということを話題にさせていただき、バスの利用を促していただければと思います。

議案第2号の1日無料運行について、指摘の点は確認するということで、承認いただくということでしょうか。

特にご意見ないので、承認いただいたものとします。

4. その他

○事務局

名港線の西部税関南バス停留所に、屋根を設置しました。

今後の予定について、次回会議は、3月頃に予定します。

5. 閉 会

○事務局

以上で飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。ありがとうございました。

以上